

令和2年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立鹿本学園 肢体不自由・知的障害		通学区域 肢体不自由教育部門：葛飾区の一部、江戸川区 知的障害教育部門：江戸川区の一部 進路実績 肢体不自由教育部門高等部卒業生の進路決定率100%
	校訓「向学虹輝」 虹が多様な色が合わさり連なって煌きを放つように、児童・生徒一人一人がその個性を発揮し、輝かしい未来をつかむために「日々の学びと真剣に向き合う」本学園では、その積み重ねを大切にする。		
基本	所在地	〒133-0044 江戸川区本一色二丁目24番11号	電話番号 03-3653-7355
	アクセス	(1) JR総武線新小岩駅南口より京成バス新小71系統乗車「菅原橋」下車徒歩5分 (2) 都営地下鉄新宿線一之江駅A1出口より都営バス新小29系統バス乗車「菅原橋」下車徒歩5分 (3) 東京メトロ東西線葛西駅中央口より都営バス新小29系統バス乗車「菅原橋」下車徒歩5分	
本	設置学部	肢体不自由教育部門 小学部、中学部、高等部 知的障害教育部門 小学部、中学部	
	幼児・児童生徒数	肢体不自由教育部門 171名（小学部87名、中学部42名、高等部42名） 知的障害教育部門 283名（小学部186名 中学部97名）	
情	学級数	肢体部門45学級（小学部24学級、中学部10学級、高等部11学級<内訪問学級5学級>） 知的部門61学級（小学部40学級、中学部21学級）	
	スクールバス	肢体部門19台（大型11台、中型4台、医ケア4台）知的部門9台（大型5台、中型4台）計28台	
報	その他	言語活動及び読書活動の充実事業、社会貢献活動モデル事業、スポーツ教育推進指定校、特別支援学級の専門性向上事業	
	副籍実施状況	葛飾区、江戸川区の教育委員会と連携し、直接交流並びに間接交流の推進を予定。	
	学校評価	保護者の学校評価回答率68%で回答率向上が課題。人権尊重・言語環境改善でのマイナス評価を0にすることが課題。保護者の評価不能項目を減らす評価方法の工夫と事前の情報発信が必要。	
	ホームページ	http://www.shikamotogakuen-sh.metro.tokyo.jp/	

目指す学校 都民に信頼される教育活動を基盤として、個々の障害の状態等に応じた専門的な教育を行うことにより、生きる力を養い、分かる力を高め、地域社会の一員として主体的に社会参加・自立し、共生社会実現に向けて、生涯にわたり心豊かに生きていく人材を育成する学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	併置型学園としての魅力ある教育の充実・発信 ①併置化のメリットを生み出す特色ある教育活動の推進・発展 ②併置型学園としての特色ある教育を生み出す教育活動の継続・発展 ③共生社会の実現に向けた地域連携、社会貢献で学園の地域定着、東京2020以降のレガシー創出	・併置型学園としての魅力ある教育活動を充実させ成果を発信。「地域の中で主体的に生きる力を育む指導の工夫」をテーマに特色のある教育活動を展開し、オンライン開催した全国公開研究会で実践研究の成果やコロナ禍での学校経営を発表した。 ・本校オリパラレガシーの「しかもと音頭」のプロモーションビデオ作成や合同書道展等の開催で学園の一体感を向上させた。 ・リモート対戦による校内ポッチャ大会、優勝、準優勝チームの他校とのリモート対戦等で、両部門の交流機会が増加した。 ・卒業式、修了式の様子をTeamsでオンライン配信。新たに設置した大型モニターで各教室からの視聴を可能にした。 ・地域連携活動は感染防止のため実施できなかったが、リモートでの交流を地域の小中学校に提案した。	
目標②	効率的・機能的な学校組織の確立による組織力向上と環境整備 ①カリキュラム・マネジメント推進による教育課程の改善 ②主任教諭のOJT推進と活躍機会の提供による能力開発・人材育成 ③個人端末等を活用した的確で合理的・効率的な業務遂行 ④学園クオリティの基盤となる教職員の接遇マナーの向上	・テレワークの申請、開始終了報告にWebフォームを活用しサービス管理業務を劇的に改善させた。 ・毎日の消毒、机間シールド板の設置、教員執務室の分散化により感染予防策を徹底実施した。 ・クラウドを活用したスマートフォンの内線化により、在宅勤務での児童・生徒の安否確認を実現させた。 ・児童生徒の欠席連絡を電子メールによる受付に変更。夜間、早朝でも連絡でき、保護者から好評を得た。 ・Webフォームでの学校評価を実施して集計時間を大幅に縮減。保護者回答率も68%から89%に向上した。 ・Webフォーム、クラウド内線電話、電子メールでの欠席連絡等すべて主幹の提案。迅速な課題解決力が向上した。	
目標③	専門性のある人材を生かした教育の充実 ①学校介護職員と教員の協働体制の充実と専門性の向上 ②外部専門員と教員の協働体制の確立と人材活用 ③学習指導アドバイザー等を活用した授業者・保護者支援 ④臨床発達心理士を活用した授業者・保護者支援 ⑤教材作成アドバイザーを活用した教材充実	・医ケア専用通学車両が3台から7台に増加し看護師の同乗も開始。同乗する看護師の医ケアの専門性向上を図った。 ・休業期間中も外部専門員を活用してアセスメント活用アプリや情報共有システム等の作成を依頼し業務改善を図った。 ・S学習指導アドバイザー等専門家を人材活用した授業改善を継続、家庭教育を支援する保護者学習会を実施した。 ・自己申告書に個別指導の目標を明記させ、言葉・数の獲得につながる基礎的学力の向上を推進した。 ・N発達臨床心理士を活用した授業者支援、認知発達教材の作成と教材展の開催等で個別指導の充実を図った。 ・外部専門員に動画作成や通信環境の整備を委託し、教員の負担を軽減してオンラインでの全国公開研究会を実施した。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	29年度		30年度		31年度		今年度		03年度	04年度	05年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	全関係者評価「併置型学園の特色ある活動を推進」「情報発信ができていく」(%)	95	87	90	93	90	85,96	90,90	88,96	90,90	90,90	90,90
目標②	専門家評価「効率的・機能的な業務改善の推進・ライフ・ワーク・バランス意識向上」(%)	85	100	85	86	90	評価未実施	80	100	85	85	90
目標③	専門家評価「専門性ある人材の活用による教育充実」(%)	95	86	85	100	85	100	90	100	90	90	90

スクールバス出入口

正面玄関



シンボルツリー

未来に **虹** をかける教育を進めます。

鹿本学園のスピリット

校歌

学ぼう 歌おう 進もう

校章

肢知2部門 **虹**の架け橋
5学部の協力



校訓

向**学**虹輝 学び・輝く

標準服

中高一貫・学園一体

平成29年度から4年目
言語活動及び**読書活動**
充実事業研究指定校
東京都教育委員会指定

平成29年度
子どもの**読書活動**
優良実践校
文部科学大臣表彰

平成28年度
キャリア教育優良学校
文部科学大臣表彰



鹿本学園マスコット